

## ● UBSグローバルCBファンド

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込み】

日興コーディアル証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、

社団法人金融先物取引業協会

[日興コード] 3906  
 [純資産総額] 1,100.0百万円  
 [基準価額] 11,638 円

[決算日] 毎年3月31日  
 [設定日] 2006年5月8日  
 [信託期間] 無期限

### ＜運用担当者のコメント＞

#### ☑ 市場概況

2月のCB市場は、月間で上昇しました。

前月に引き続き世界株式市場の堅調な動きが上昇の要因となりました。

2月の転換証券の新規発行は、引き続き、過去平均を下回る水準となりました。

#### ☑ 運用状況

2月末時点での資産構成比は、『日興グローバル・CB・ファンドー円(ヘッジ有)クラス』に99.2%、『UBS(Lux)インスティテューショナル・ファンド・ショートターム・米ドルBAクラス』に0.2%となっています。

『日興グローバル・CB・ファンドー円(ヘッジ有)クラス』は、キャッシュ比率が高いことや、比較的低い水準である加重平均デルタなどにより、限定的な上昇となりました。個別銘柄では、発行体の株価の上昇を受けたデータ保管テクノロジー関連銘柄がファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、転換証券発行により、発行体の株価が調整したレアアース関連銘柄はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。また、企業実績が予想を下回った北米の自動車メーカー関連銘柄もマイナスに働きました。

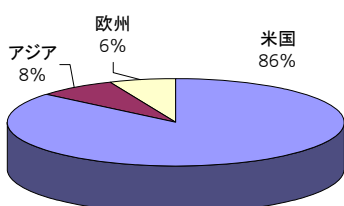
#### ☑ 現在の投資方針

中東の不安定な状況をめぐって市場の不透明感が高まっていますが、転換証券市場は、世界の株式市場と社債市場の上昇を受け、堅調に推移しています。商品市場が急騰するなど、市場の不透明感の完全な払拭は考えづらい状況です。これは、グローバル経済の回復の足を引っ張る可能性も考えられることから、比較的高いキャッシュ比率を維持する方針です。上昇傾向である転換証券に対する需要と、過去の水準を下回る新規発行による不均衡な需給環境は、今後も転換証券市場のバリュエーションを高める材料になると考えられます。

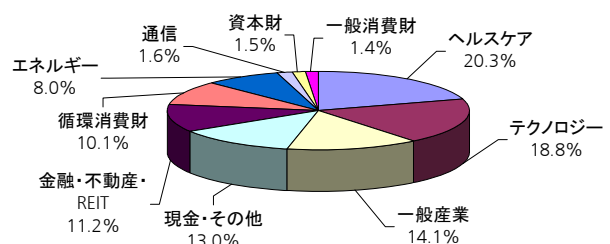
### (ご参考)

以下の「地域別投資比率」、「業種別構成比」は、投資対象としている『日興グローバル・CB・ファンドー円(ヘッジ有)クラス』の状況です。

#### ＜地域別投資比率＞



#### ＜業種別投資比率＞



※上記比率は、端数処理の関係上、100%とならないことがあります。

### ＜基準価額(分配金再投資\*)の騰落率＞

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
ファンド	1.29%	3.00%	7.06%	10.69%	16.38%

\*基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。

### ＜基準価額(分配金再投資)の推移＞



※基準価額(分配金再投資)は信託報酬控除後の値です。

### ＜分配金実績(税引前)＞

(決算日)	2007/4/2	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31
分配金	0	0	0	0

### ＜資産構成比＞

日興グローバル・CB・ファンドー円(ヘッジ有)クラス	99.2%
UBS(Lux)インスティテューショナル・ファンド・ショートターム・米ドルBAクラス	0.2%
現金・その他	0.6%
合計	100.0%

## ●UBSグローバルCBファンド

販売用資料(月報)2/3  
(データは2011年2月28日現在)

### 【本資料ご使用にあたってのご注意事項】

本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社(以下、弊社)が作成した資料です。本資料は本ファンドの情報提供を目的として作成されたものであり、その他の有価証券の取得の勧誘を目的とするものではありません。本ファンドのご購入に際しては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。本資料に記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の市場の動向等を保証するものではありません。また、将来、予告無しに変更される場合もあります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

### 【主なリスク】

#### 1. 公社債の価格変動リスク

公社債の価格は、主に金利の変動(金利変動リスク)および発行体の信用力の変化(信用リスク)の影響を受けて変動します。公社債の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。公社債の価格の変動幅は、公社債の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

#### 2. 転換証券のリスク

転換証券の価格は、株式市場の全体的な下落により低下することがあります。事前に決まっている転換証券の転換価格が発行体の普通株式の時価に近いときまたは下回っているときに、転換証券の時価は対象となる普通株式の価格変動に特に敏感に反応します。

#### 3. 株式の価格変動リスク

株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動しますので、短期的または長期的に大きく下落することがあり、組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。

#### 4. カントリー・リスク

投資対象国・地域の政治・経済および社会情勢の変化により混乱が生じた場合には基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

#### 5. 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることになります。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。

#### 6. 解約によるファンドの資金流出に伴うリスク

短期間に相当金額の解約申込があった場合には、保有証券を市場実勢から期待される価格で売却できないことがあり、その結果、基準価額が大きく変動する可能性があります。

「その他の留意点」「リスク管理体制」については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 【お申込みメモ】

- 信託設定日 平成18年5月8日
- 購入単位 1万円以上1円単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 購入・換金 ロンドン証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行、ダブリンの銀行もしくはルクセンブルグの銀行の休業日と同日の場合には、購入・換金申込の受け付けは行いません。不可日
- 収益分配 年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。(再投資可能)
- 課税関係 課税上は株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ●UBSグローバルCBファンド

### 【ファンドの費用】

#### ●投資者が直接的に負担する費用

・購入時手数料:購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.15%(税抜3.00%)以内で販売会社が定める率を乗じて得た額を、販売会社が定める方法により支払うものとします。

・信託財産留保額はありませぬ。

#### ●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

・運用管理費用(信託報酬)

日々の純資産総額に対して年1.029%(税抜0.98%)の率を乗じて得た額とします。

上記の信託報酬に加えて、当ファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等が、当ファンドの純資産総額に対し年率0.72%以内の範囲(委託会社が試算した概算値)でかかります。したがって、当ファンドの信託報酬率(年率1.029%(税込))を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は純資産総額に対して合計で年率1.749%(税込)程度となります。ただし、この値はあくまでも実質的な信託報酬率の目安であり、実際の投資信託証券の投資比率によって、実質的な信託報酬率は変動します。

※運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末、または信託終了のとき信託財産から支弁するものとします。

・その他の費用・手数料

信託財産に係る監査報酬(現在は信託財産の規模等を考慮して委託会社が負担しております。)

信託財産に関する租税、組入有価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として発生の都度ファンドから支払われます。

※上記の各費用は、信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

受益権の管理事務費用、法定手続き(書類の作成、印刷、交付)等に関する費用(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%)を間接的にご負担いただく場合があります。

※原則として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

※投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、事前に表示することはできません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

#### ●委託会社

UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会

信託財産の運用指図等を行います。

#### ●受託会社

三井アセット信託銀行株式会社

信託財産の管理業務等を行います。

#### ●販売会社

日興コーディアル証券株式会社

募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付ならびに分配金、一部解約代金および償還金の支払い等を行います。

\*日興コーディアル証券株式会社は、2011年4月1日よりSMB C日興証券株式会社に社名変更を行います。